第 28 回　池田正人さん（神奈川県警察本部少年相談・保護センター）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは，若手のみなさまに，ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。
第 28 回目は，池田正人さん（神奈川県警察本部少年相談・保護センター）にご執筆いただきました。

警察と心理学

「警察で心理学」というと科学捜査研究所でのポリグラフ検査やプロファイリングをイメージする人が多いと思いますが、警察職員のメンタルヘルスや犯罪被害者支援など様々な分野で心理学は活用されています。私が所属する神奈川県警察の少年相談・保護センターでは、子どもの非行やいじめ、犯罪被害等の相談を受け、その立ち直りを支援しています。

私は大学院時代、臨床心理学の実習と生理心理学の研究で二足の草鞋を履いていましたが、今の仕事が決まったとき、「今後は研究を捨てて臨床に専念かな」と思いました。しかし、子どもの問題行動に対し「なぜこうなるのか」と疑問を抱いて仮説と検証を繰り返すのは臨床も研究も同じであり、子どもの実態や相談技法等の調査研究をするときは心理学研究法を用います。心理学の専門性を他の人々に理解してもらうためには、臨床と研究は車の両輪のようにどちらも必要であり、学生時代に学んだことはどれも無駄ではなかったと実感しています。

池田正人さん（Masahito IKEDA）
【ご所属】　神奈川県警察本部少年相談・保護センター
【ホームページ】　https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesd1004.htm